

平成26年度下期～平成27年度上期 主要工事実績



安西橋改築/静岡県
静岡市

本工事は、1級河川安倍川を渡河する国道362号の交通渋滞緩和を目的とする整備事業の一環で、安西橋の4車線化に伴う既設橋の歩道部改修工事です。

特徴は、上流側に新道路橋が架けられ既設道路橋との間となった歩道橋の移設で、歩道橋のRC床版撤去後に主構造を既設道路橋の上流側から下流側に横取り架設を行い歩道橋の床版は、新しく製作した鋼床版に変更するというものです。

工種は瀬替え工・床版撤去工・桁架設工・舗装打替え工とあり約1年半の施工期間でしたが平成26年度に無事故で完工しました。



東員高架橋/三重県
中部地方整備局(北勢国道事務所)

本橋は、三重県員弁郡東員町に架かる東海環状自動車道の一部でこの自動車道が出来ますと四日市市～大垣市間の所要時間が短縮され、利便性の向上が期待されます。単純鋼床版箱桁の上下線で、総工事延長187.2m、総鋼重は1518.5tで、施工にあたっては全断面現場溶接構造での単純桁としてはスパンの長い橋梁であったため形状管理、品質管理には、色々と工夫を行った工事でした。



日向大橋/宮崎県
九州地方整備局(宮崎河川国道事務所)

本橋は、宮崎県宮崎市佐土原町から児湯郡新富町にかけての、渋滞対策と交通安全の確保を目的に整備が進む、国道10号新富バイパス整備工事の一環として、一ツ瀬川にかかる新しい日向大橋です。(全体橋長=571mの内、375m。)

橋梁形式は鋼5径間連続非合成箱桁橋で、鋼重は約2,000t。架設は全て手延べ送出し工法によるもので、工事着手より10カ月を要する工事でした。



安藤川橋/愛知県
中部地方整備局(名古屋国道事務所)

本橋は、現在供用中の国道23号岡崎バイパスの4車線化工事で、橋長L=149mの3径間連続非合成鋼桁橋です。本工事の特色は、各径間に国道、県道、市道が横断しており、狭小ヤード内での夜間架設工事というものでした。また年度内床版工事完成という工程上の制約もあり難易度の高い工事でした。



上北地区上部工/青森県
東北地方整備局(青森河川国道事務所)

本橋は、一般国道45号上北天間林道路の一部でこの道路は県都青森市と八戸市を結ぶ高規格道路ネットワークの一部を形成し、平成30年度の供用を目指している道路です。施工にあたっては砂土路川橋、七戸川橋、大林川橋側道橋と3橋の施工箇所が点在しており、尚且つ同時に3現場が動くこともあり安全管理、交通管理には特に注意を払った現場でした。



上切高架橋/岐阜県
中部地方整備局(高山国道事務所)

本橋は、国道41号高山国府バイパスの県道高山清見線を跨ぐ橋梁です。県道、バイパスランプ・本線に囲まれた現場条件であったため、多軸台車を用了相吊り一括架設工法を採用した工事です。架設クレーンの配置場所確保も困難であったため、本橋に並行する橋梁より架設しました。



吉ヶ原橋補強/岐阜県
中部地方整備局(高山国道事務所)

本橋は、岐阜県飛騨市神岡町を流れる神通川水系、高原川を渡る国道41号線に架けられた橋で、昭和42年に完成し地域の交通を支えている橋梁です。施工内容は、支承の取替・落橋防止装置の追加・桁補強であり、供用中の橋梁補修工事であったため国道規制回数を減らすなど、安全に配慮し無事故完工しました。



大垣西IC・Aランプ橋/岐阜県
中部地方整備局(岐阜国道事務所)

東海環状自動車道大垣西ICの土岐方面へのONランプ橋工事です。4径間連続箱桁橋のうち、第3径間は国道21号を横断するため、架設時は夜間通行止めによる大ブロック一括架設を行いました。さらに、同径間上空には高圧送電線が横断しており送電線との離隔距離を確認しながら架設ブロックを水平に差し込むようにして行うなど難工事でしたが、平成27年3月18日無事故竣工することができました。



沼田原橋/奈良県
奈良県十津川村

本橋は奈良県吉野郡十津川村村道沼田原線の小原川を渡河する方丈ラーメン箱桁橋です。架設地点は川が流れる切り立った谷間となっており、作業ヤードも限られていたため、架設はケーブルエレクション斜吊工法を採用しました。